

つたえる地域 つながる地域

町内2高校「教育パートナーシップ協定」締結



協定書を締結した河島靖岳教育長(左)と橋場保人野辺地西高校長

授業や部活、小中と連携

練習場所共有など検討

協定では、活力ある個性豊かな教育活動の推進を目的に、▽課外活動の支援実施▽教育についての情報交換および交流▽郷土の歴史・文化の継承などで連携する方針を掲げている。町教委によると、同様の協定は県内で初めて。

協定により、高校教諭による小中学校での出前授業や、中学校と高校の部活動の練習場所共有などの連携が考えられるという。具体的な活動については、町教委と高校などで今後設置する連携推進会議で決定する考え。

同日、町中央公民館で行われた締結式では、河島靖岳教育長と橋場校長、早野校長がそれぞれ協定書に署名。河島教育長は「少子化が進んでいるが、この地で学ぶ子どもたちのため、地域教育の質の向上を目指したい」と述べた。

野辺地

野辺地町教委は11日、八戸学院野辺地西高(橋場保人校長)と青森県立野辺地高(早野英明校長)の町内2高校と「教育連携パートナーシップ協定」を締結した。高校と小中学校が連携を円滑に行うことが可能となり、地域の教育環境充実に効果が見込まれる。(藤村大地)